

洛西ニュータウン・まちづくり通信 vol.3

第3回洛西ニュータウンまちづくり検討会を開催しました

洛西ニュータウンの今後の望ましいまちづくりのあり方とその実現のための方策を調査、検討する「洛西ニュータウンまちづくり検討会」が、1月24日に西京区役所洛西支所で開催されました。

今回は、昨年12月に行なわれたアンケート調査結果の中間報告や第1回タウンミーティング「洛西まち探検」等の概要が報告されたほか、現時点でのまちの課題や今後の検討会及びタウンミーティングの進め方等について意見交換が行なわれました。

また、今後のまちづくりについては、生活、コミュニティ、子育てなどの問題を関連づけて将来の姿を描くことが重要であり、タウンミーティングを重ねて議論を整理しつつ、今後の生活やまちのあり方について議論していくことの必要性が確認されました。

第4回検討会は、以下のとおり開催する予定ですので、皆さん奮って御参加ください。

日時：3月22日（水）午前9時30分～

場所：洛西総合庁舎2階大会議室



第3回検討会で出された主な意見

アンケート調査によると、景観や自然環境の豊かさに対して満足度が高いので、これをいかに大切にしていけるかが重要。

高齢化が進行しているが、思ったよりも人の入れ替わりも多く20年以上住んでいる人は半数程度だった。人が動くところと動かないところの地域差があるようだ。

都市再生機構の住宅（旧公団）では、自治会に加入していない方が多い。機構は誰が住んでいるのか教えてくれないので自治会として困っている。

機構としては、個人情報の関係で知らせられない。

都市機構には、入居の際、自治会活動についてPRしてもらいたい。

人口や世帯数が西京区としては増えているのにも関わらず、ニュータウンは増えていないことを考えると、受け皿がニュータウンにあるのか気になる。現在の住民たちが今の環境に満足しているだけでは人口は減り、高齢化は進むので、現在の住民たちに住み良い環境にする努力とともに、新しい人たちに来ていただく努力・工夫も必要。

- ・高齢世代と子育て世代ではニーズが異なる。新たに住宅が欲しい子育て世代は、周囲に同じような家庭がどの程度いるかを気にするが、成熟したまちで、濃密なコミュニティ活動があると、ためらうということが多いそうである。そういう環境に慣れれば、コミュニティも高く評価されるので、正しい情報発信が重要である。
- ・分譲住宅では、子世代は外へ出て親だけが残る、空き家になっていく。新規の方に入ってもらえる仕掛けをどうするのが難しい問題。
- ・活性化のための課題は以下の3点。ニュータウンの縁辺部まで含めた魅力の再発見と再活用の方策の検討。コミュニティの活性化の仕掛けをしていくこと。不動産のマーケットの仕組みを意識した流通促進の仕掛けを賃貸も分譲も併せてつくること。
- ・犯罪に対する不安は、おそらく自転車、バイクの盗難が多いことを示すものと思われる。
- ・周辺との関わりは見逃してはいけない視点。周りから見て魅力的なニュータウンであるとともに、周辺も魅力的でなければならない。

第1回タウンミーティング「洛西まち探検」
第2回タウンミーティング「洛西まち語り」を開催しました

「洛西まち探検」～まちを歩いて魅力を再発見

洛西まち探検では、お住まいの地区以外で、新林、境谷、福西、竹の里の4つのルートに分かれ、それぞれのグループの「まち案内人」の先導のもと、まちについて語り合いながら探索をしました。次に、洛西ニュータウンの魅力と気になったところを整理して「まち再発見マップ」を作成しました。

第1回タウンミーティング「洛西まち探検」のまとめ



「タウンミーティング」は、洛西ニュータウンの今後の望ましいまちのあり方と、その実現のための方策について、一人でも多くの住民や事業者などの皆さんが参加し、互いに情報を共有し、話し合い、ともに考えていただく取組です。12月10日に第1回タウンミーティング「洛西まち探検」、2月5日に第2回タウンミーティング「洛西まち語り」を開催しました。

「洛西まち語り」～まちへの思いの語り合い

洛西まち語りでは、元京都市職員で洛西ニュータウンの建設に携わった猪飼稔さんに開発当時の話を聞いたあと、5つのグループに分かれて討議テーマを決め、まちのくらしのなかで残したいことや改善したいこと、それらに対する提案など、洛西ニュータウンに対する思いについて語り合いました。



第2回タウンミーティング「洛西まち語り」のまとめ

新林班 新林マップのタイトル＝「ニュータウンのかんばん」

まちのよいところ

- ・静かで住みやすく、居住環境が整っているまち。
- ・古い集落も一体で人のつながりがある。(東長・西長町)
- ・美しい西山が見える。
- ・緑が豊富で、住民の方の清掃活動もいきとどいている。
- ・小畑川河川敷は自然が豊富で、のんびりできる場所。
- ・池公園周辺は散歩にはとても良い。
- ・サブセンター、商店街に活気があり、うらやましい

まちの気になるところ

- ・公園にも街にも人通りが少ないと感じた。
- ・中心部までは坂道が多く、遠いと感じた。
- ・緑道で、バイク乗り入れ禁止や自転車のスピードの出しすぎの防止などを考える必要がある。
- ・戸建て住宅で改築等が進み、町並みの調和が課題である。
- ・道路沿いの垂直の擁壁は歩く人に圧迫感がある。
- ・小畑川の堤防をもっと美しくして鴨川のように。

福西班 福西マップのタイトル＝「歴史のまち」

まちのよいところ

- ・竹林公園は手入れがよく、静かで美しい。
- ・福西遺跡公園をもっとPRしてほしい。
- ・まちに多くの種類の木が植えてあって四季を楽しめる。
- ・小畑川沿いの桜、メタセコイアの木が素敵。
- ・ユーコートは今後の住宅のモデル。
- ・まち全体どこでも散歩できる歩道が整備されている。
- ・福西NPOの介護サービスは素晴らしい。

まちの気になるところ

- ・福西古墳の維持手入れを積極的にやってほしい。
- ・公園があれているのでの整備が必要。
- ・小畑川や公園、道路にゴミが多く、清掃を望む。
- ・サブセンターが閉鎖して活気が無く、再生・活用を望む。
- ・子どもが外で遊んでいるのをほとんど見かけない。
- ・団地内の生活道路に駐車が多い。

境谷班 境谷マップのタイトル＝「明るく澄んだまち」

まちのよいところ

- ・公園が程よく配置されている。
- ・緑が多く、景色がとてもきれいだった。
- ・ウォーキングや散歩がしやすい。
- ・道路や緑道、公園などが概ね清掃されている。
- ・新林本通の並木が美しい。
- ・高校生がまちの清掃活動を行っている。
- ・洛西高校北側からの西山を望む景色が美しい。



まちの気になるところ

- ・まち全体として街灯が少なく、夜は危険だと感じた。
- ・サブセンターの店がしまっていて淋しかった。
- ・緑道を単車が通り危険。
- ・境谷公園の北側の道をもう少しきれいにする。
- ・小学校の校庭にゴミがあった。
- ・5階建ての団地でエレベーターがなく、高齢者には大変。

竹の里班

まちのよいところ

- ・町並みが整っていて景観もよく、住みやすそう。
- ・車に気兼ねなく歩ける道が整備されている。
- ・まちなかに緑が多く、多様な街路樹はまちの資産である。
- ・竹の里通りは緑豊かで空気も透き通り気持ち良かった。
- ・信州にも負けないくらい美しい西山の景観。

まちの気になるところ

- ・まちに遊ぶ子どもの姿がなく、人がまちに少ない感じ。
- ・高層の集合住宅が気になり、緑と家が調和した低層の町並みの将来像を共有したい。
- ・生活するにはお店が少なすぎて不便に思える。
- ・街が古くなり活気がないことと道がデコボコしている。
- ・川の水が淀んでいてゴミがたまっている。

ニュータウン全体に対して

- ・ニュータウンは緑豊かなまちだが、二世にとって魅力的か。
- ・少子高齢化の住まい方を考えて街の再生を考えたい。
- ・子どもたちが安心して遊べる場所が必要。
- ・バスルートをもう少し考えて欲しい。

「まち探検」では、地区以外にお住まいの方による新鮮な目線からまちを見つめ直していただき、西山の美しさや、思いのこもったまちの緑や自然の豊かさ、整った町並み、行き届いた清掃等のまちの魅力が、くっきりと浮き彫りとなりました。また、子どもが少ないことや、活気が少ないサブセンター、町並みや自然と調和した建物のあり方等の課題についても、肌で感じる事ができる取組となりました。



1班

- テーマ1:「交通環境の改善」のために
路上駐車対策として巡回バスを走らせる, 車の保有台数の制限, 地域の監視, 自転車道に車止めを設ける
- テーマ2:「高齢者のいきいきした暮らし」のために
「声かけ」とあいさつ
- テーマ3:「商業や生活サービス機能の充実」のために
買物に便利な直行バスを走らせる, 店舗のサービス向上, 近隣農家との連携
- テーマ4:「町並みの変化」について
町並みについての法の網掛けを

2班

- テーマ1:「商業や生活サービス機能の充実」のために
サブセンターの充実(商品が豊富で安く, 良質), 音楽, 緑, 花で楽しく美しい環境づくり
- テーマ2:「高齢者のいきいきした暮らし」のために
高齢者のスポーツ施設の充実, 公園の有効活用, ボランティア活動等による低価格での高齢者サービス, 高齢者の方が集まれる仕組みづくり
- テーマ3:「町並みの変化」について
景観悪化への対策, 違法駐車問題の解決
- テーマ4:その他の課題
まちの安心・安全, 公園緑道, 自治会活動, ミニバスについて

「洛西まち語り」では、グループごとに「高齢者」や「町並み」等からテーマを選び議論しました。

それぞれの課題が密接に関係していることや、地域で支え合う仕組みが重要なこと、同じテーマでも思いの中に、共通することや違いがあることを共有することが出来ました。

また、今回は「子育て環境」を選んだグループがありませんでしたが、今後、子育て世代のお話を聞くことが必要だという意見が多く出されました。



3班

- テーマ1:「高齢者のいきいきした暮らし」のために
各地域で若い人たちによる支援の輪をつくる, 介護者の交流会, NPOによる介護の取組
- テーマ2:「顔の見える交流」について
交流の機会や場が減少, 集合住宅で自治会活動の低下が進んでいる
- テーマ3:「まちの安心・安全」のために
子どもや高齢者のセーフティネットを, 小学校の空き教室を利用したデイサービス
- テーマ4:その他の課題
公共交通の問題, 子育て環境の充実を

4班

- テーマ1:「交通環境の改善」のために
バスルートの情報提供の充実, 道路やバス停の演出や標識の改善, 排ガス問題の解決, 地下鉄やミニバス, LRTの導入, 違法駐車の問題の解決
- テーマ2:「街なみの変化」について
建ぺい率違反への対応, 空家対策として資産価値を高める環境づくり, 新たなルールづくり
- テーマ3:「公園・緑道」について
公園のファンクラブを結成し, 活用, 管理, 緑道のバイク対策, 緑道で花を使った演出

5班

- テーマ1:「多様な市民活動の展開」のために
団体相互のネットワークとPR
- テーマ2:「高齢者のいきいきとした暮らし」のために
高齢者が活躍できる仕組みづくり＝市民化活動への参加, 車がなくても生活できるまちづくり
- テーマ3:「公園・緑道」について
みんなで世話をする仕組みづくり, 多世代が使える公園づくり, 緑道のバイク対策
- テーマ4:「商業・生活サービス機能の充実」のために
大型店との競合に対して, 地域の店を地域で支える, 買い物ボランティア等のコミュニティビジネスの展開
- テーマ5:「町並みの変化」について
高さ・容積率・色等の地域別の規制強化

洛西ニュータウンのまちを考えるアンケート調査結果(中間)がまとまりました。

アンケートへのご協力ありがとうございました

洛西ニュータウンのまちづくりを考える際の基礎資料となる「洛西ニュータウンのまちを考えるアンケート」を昨年の12月に実施いたしました。このほどその中間結果がまとまりました。

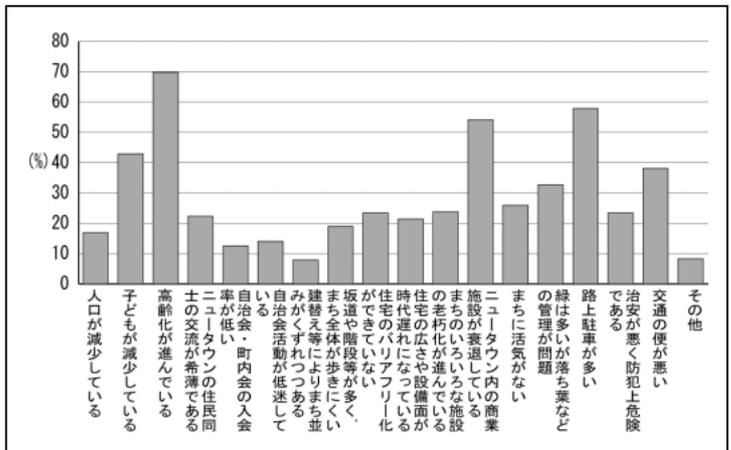
洛西ニュータウンにお住まいの18歳以上の方3,000名(住民基本台帳データ及び外国人登録データからの無作為抽出による)に調査票を配布いたしましたところ、1,361名の方から回答をいただきました。回収率は、45.4%であり、アンケートとしてはたいへん高い回収率でした。このことから、洛西ニュータウンの住民の方が、まちについて高い関心をお持ちだということがわかります。

ご協力誠にありがとうございました。

アンケート結果の一部を紹介します

問：現在の洛西ニュータウンについて、気になることはありますか。(当てはまるものをすべて選択)

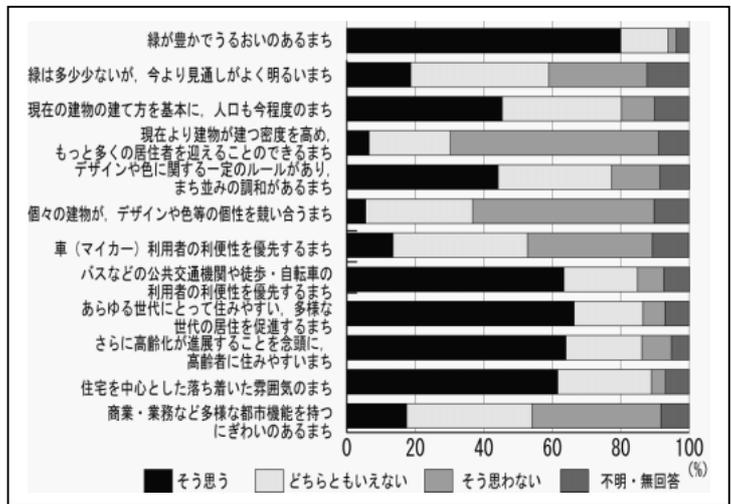
「高齢化が進んでいる」が69.7%と最も多く、「子どもが減少している」についても42.9%と高い比率となっています。また、「路上駐車が多い」、「ニュータウン内の商業施設が衰退している」についても半数以上の人から気になることとして挙げられています。



問：洛西ニュータウンの将来像を考える上で、各項目についてどのように思いますか。(各項目について、「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」の中から1つ選択)

「緑が豊かで潤いのあるまち」について「そう思う」という答えが80%でしたが、これに対し、「緑は多少少ないが、今より見通しが良く明るいまち」で「そう思う」という人は2割以下でした。

また、「現在の建物の建て方を基本に、人口も今程度のまち」では、45%が「そう思う」と答えたのに対し、「現在より建物が建つ密度を高め、もっと多くの居住者を迎えることのできるまち」について、「そう思う」は、わずか6.5%、でした。



その他、「そう思う」が多かったのは、「あらゆる世代にとって住みやすい、多様な世帯の居住を促進するまち」(66.4%)、「さらに高齢化が進展することを念頭に、高齢者に住みやすいまち」(64%)、「バスなどの公共交通機関や徒歩・自転車の利用者の利便性を優先するまち」(63.4%)、「住宅を中心とした落ち着いた雰囲気のあるまち」(61.6%)などで、逆に「そう思わない」が多かったのは、「現在より建物が建つ密度を高め、もっと多くの居住者を迎えることのできるまち」(60.8%)、「個々の建物が、デザインや色等の個性を競い合うまち」(52.9%)などでした。

